

Global studies創刊号：
表紙,執筆要綱,執筆者一覧,奥付

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2018-03-08 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://mu.repo.nii.ac.jp/records/717

GLOBAL STUDIES

グローバルスタディーズ

1

2017

創刊号

- 1 創刊の辞 —— グローバルスタディーズ研究所長 示村 陽一

研究論文

- 3 グローバルスタディーズとは何か —— 示村 陽一
- 11 文化本質主義と異文化コミュニケーション研究 —— 古家 聡
- 23 明治期における清国留学生たちの集会場所
— 孫文歓迎会と富士見楼をめぐる — —— 藥 殿武
- 35 学習初期の習得に影響を与える適性要素は何か
— 外国語環境で学ぶ中国人日本語学習者の場合 — —— 向山 陽子
- 45 科学者ヴィクター・フランケンシュタイン
— メアリー・シェリーは科学と科学者をどう捉えたか — —— 佐々木 眞理
- 55 システム化されたエッセイ作成のプロセスおよび
多文化環境におけるピア・エディティングの有効性について —— Chad Hanashiro

実践報告

- 67 江東区における年少者日本語教育支援の取り組み —— 村澤 慶昭
- 77 学習者から見た反転授業実践 — アカデミックライティングでの実践から — —— 藤本 かおる

研究ノート

- 85 働く場のコミュニケーション能力評価尺度の比較検討 —— 金子 敦子

エッセイ

- 93 ふなっしーの魅力はどこまでグローバルになれるか —— Daniel Papia

世界の幸せをカタチにする。

Creating Peace & Happiness for the World



武蔵野大学グローバルスタディーズ研究所

武蔵野大学 グローバルスタディーズ研究所紀要
Global Studies 執筆要綱

1. 投稿資格

グローバルスタディーズ研究所の研究員及び客員研究員、科目担当教員（大学院言語文化研究科、グローバル学部、グローバル・コミュニケーション学部（非常勤講師を含む）、大学院言語文化研究科の大学院生及び修了生とする。また、以下のいずれかに該当する者は、グローバルスタディーズ紀要編集委員会で認めた場合に限り投稿することができる。

- (1) 本研究センター専任教員と共同研究に従事する者
- (2) 紀要編集委員会が特別に依頼した者

原稿は未発表のもので、1人1編とする。共同研究の場合は1人2編までとするが、筆頭者としては1編しか投稿できない。

2. 使用言語

日本語、英語、中国語のいずれかとする。

3. 原稿作成上の注意

(1) 原稿の様式と分量

原稿は横書きの Word 文書で作成する。

分量は、A4 用紙、43 字×40 行で、約 10 ページ（注、参考文献、図表を含む）。

余白は上 35mm、下、左、右とも 30mm（ワードの既定値）とする。欧文原稿の場合は、A4 用紙（または国際版タイプ用紙 216×290mm）30 枚以内、刷り上がり約 10 枚（注、参考文献、図表を含む）とする。

(2) 表記法

- ① 常用漢字、現代仮名づかいを原則とする。
- ② 数字は原則として半角アラビア数字とする。ただし、「一切」、「四半世紀」などの熟語、成句、固有名詞に限って和数字を用いる。
- ③ 句読点、「」、（ ）は全角で使用する。

(3) 論文タイトルおよびサブタイトル

英文原稿には、英文タイトルの下に和文タイトルを入れる。和文原稿には、和文タイトルの下に英文タイトルを入れる。

(4) キーワード

キーワードは5語以内とし、論文タイトル、氏名の下につける。

(5) 注と参考文献の書き方

注と参考文献・引用文献は、後ろにまとめる。注は本文中に上付添字、1)、2)、3) …と通し番号で示す。脚注機能は使用しないこと。

参考文献・引用文献は、以下の1)、2)のいずれかの書式で統一する。

① 洋書単行本

- 1) Ellis, Rod (2003) *Task-based Language Learning and Teaching*. Oxford: Oxford University Press.
- 2) Ellis, Rod. *Task-based Language Learning and Teaching*. Oxford: Oxford University Press. 2003.

② 洋書論文

- 1) Langacker, Ronald W. (2006) "On the Continuous Debate about Discreteness", *Cognitive Linguistics* 17: 107-151.
- 2) Langacker, Ronald W. "On the Continuous Debate about Discreteness", *Cognitive Linguistics* 17, pp.107-151. 2006.

③ 和書単行本

- 1) 加藤周一 (2007) 『日本文化における時間と空間』 岩波書店
- 2) 加藤周一 『日本文化における時間と空間』 岩波書店 2007年

④ 和書論文

- 1) 粉山洋介 (2009) 「百科事典的意味観」『認知言語学論考』 No.9:1-38 ひつじ書房
- 2) 粉山洋介 「百科事典的意味観」『認知言語学論考』 No.9:1-38 ひつじ書房 2009年

(6) 提出原稿の校正

校正は2回までとする。印刷進行過程における原稿の大幅訂正、加筆、削除は控える。

4. 抜き刷りについて

抜き刷りは30部とする。それ以上希望する場合は、実費自己負担とする。

5. 原稿の提出期日

年1回、委員会の定める期日までに提出する。

6. 原稿の提出方法および提出先

原稿は武蔵野大学グローバルスタディーズ研究所紀要編集委員会 (gs_edit@musashino-u.ac.jp) 宛に、電子データをメールにて提出する。

執筆者一覧 (掲載順)

【研究論文】

示村陽一	Yoichi Shimemura	グローバル学部グローバルコミュニケーション学科教授
古家聡	Satoru Furuya	グローバル学部グローバルコミュニケーション学科教授
樂殿武	Hirotake Ran	グローバル学部グローバルビジネス学科教授
向山陽子	Yoko Mukoyama	グローバル学部日本語コミュニケーション学科教授
佐々木眞理	Mari Sasaki	グローバル学部グローバルコミュニケーション学科准教授
Chad Hanashiro	Chad Hanashiro	グローバル学部グローバルビジネス学科講師

【実践報告】

村澤慶昭	Yoshiaki Murasawa	グローバル学部日本語コミュニケーション学科教授
藤本かおる	Kaoru Fujimoto	グローバル学部日本語コミュニケーション学科准教授

【研究ノート】

金子敦子	Atsuko Kaneko	グローバル学部グローバルビジネス学科准教授
------	---------------	-----------------------

【エッセイ】

Daniel Papia	Daniel Papia	グローバル学部非常勤講師
--------------	--------------	--------------

Global Studies 創刊号

2017年3月1日発行

編集 武蔵野大学グローバルスタディーズ研究所紀要編集委員会

発行 武蔵野大学グローバルスタディーズ研究所
〒135-8181 東京都江東区有明3-3-3
電話 03-5530-7312

印刷 株式会社 多摩ダイグ
〒184-0012 東京都小金井市中町2-19-31
電話 042-384-2491

GLOBAL STUDIES

1

2017

First issue

- 1 Foreword to the First Issue — Director, Institute of Global Studies Yoichi Shimemura

RESEARCH PAPER

- 3 What is Global Studies? — Yoichi Shimemura
- 11 Cultural Essentialism and Intercultural Communication Studies — Satoru Furuya
- 23 The One of Meeting Place of Chinese Students in Japan during the Meiji Era:
A study with a Focus on Fujimi Restaurant and The Welcome Party for Sun Yat-sen — Hirotake Ran
- 35 What Aptitude Components Affect Second Language Acquisition in the Beginning Stage?
– Focus on Chinese Learners of Japanese Learning in a Foreign Language Environment – — Yoko Mukoyama
- 45 A Study on the Scientist Victor Frankenstein:
What Did Mary Shelley See in Natural Science and the Scientist? — Mari Sasaki
- 55 A Systematic Process of Essay Writing &
the Efficacy of Peer Editing in a Multicultural Classroom Environment — Chad Hanashiro

PRACTICE REPORT

- 67 Japanese Language Education for the Children from Foreign Countries in Koto-ku — Yoshiaki Murasawa
- 77 The Flipped Classroom for Academic Writing Class in Japanese — Kaoru Fujimoto

RESEARCH NOTE

- 85 A Comparative Review of Communication Competence Measures for the Workplace — Atsuko Kaneko

ESSAY

- 93 Contextualizing Funassyi:
How Features are Selected for Appropriation when Cultures Collide — Daniel Papia

世界の幸せをカタチにする。

Creating Peace & Happiness for the World



Musashino University's Institute for Global Studies